



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東  
コード番号 1446 URL <https://www.candea1.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第3四半期の連結業績 (2023年10月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	9,766	5.8	302	△23.6	297	△23.3	133	△33.8
2023年9月期第3四半期	9,232	9.4	396	63.3	387	87.1	202	232.5

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 128百万円 (△36.5%) 2023年9月期第3四半期 202百万円 (232.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	14.51	14.45
2023年9月期第3四半期	22.01	21.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,172	2,782	45.1
2023年9月期	6,225	2,706	43.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 2,782百万円 2023年9月期 2,706百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年9月期	—	4.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,540	10.0	493	9.0	486	10.0	230	2.4	24.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	10,734,200株	2023年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	1,507,300株	2023年9月期	1,529,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	9,215,920株	2023年9月期3Q	9,180,077株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境の改善が見受けられ、また物価上昇が続いており、インフレ傾向で推移いたしました。一方、中小企業を中心に多くの企業においては人件費や原材料価格等のコスト上昇の伸びに価格転嫁が追い付いておらず、厳しい経営環境に直面しております。また、家計においては消費者マインドの改善に足踏みが見られ、実質賃金もここ数年減少が続いており、今後の個人消費の動向を注視する必要があるなど、先行きが不透明な状況が続いております。加えて、今後の物価や外国為替市場の動向に影響を与え得る中東情勢や日米の金利差などの国際情勢にも引き続き注意する必要があります。

建設業界としては、慢性的な人手不足という課題に加え、2024年問題対策としての人員体制整備の課題にも直面し、人員確保のため各企業で賃上げや福利厚生の実施など雇用環境改善の動きが高まっており、企業間での人材獲得競争は激しさを増しております。また建築資材価格の高止まりや、人件費増加により建築コストは上昇基調であり厳しい状況下にあります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、実質賃金の低下や住宅価格の上昇により、住宅需要が低迷しており、国土交通省発表による2023年7月～2024年6月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比90.0%、分譲マンションが前年同期比95.7%となり、住宅市場全体としては前年同期比94.2%と減少いたしました。商環境に関しましては、物価高騰により個人消費に停滞感はあるものの、インバウンド需要がコロナ禍以前を超える規模になってきているなど総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独自の建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながら、2021年に新しく閣議決定されました「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価の上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは協力業者網の充実を図り労働力確保に努めたことにより、着実に市場の需要を取り込み、売上高は伸長いたしました。一方で、管理職の増員や従業員の待遇改善、営業活動の強化などにより、費用が増加したことで各段階利益は前年同期に比べて減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,766,484千円（前年同期比105.8%）、営業利益は302,760千円（前年同期比76.4%）、経常利益は297,020千円（前年同期比76.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は133,686千円（前年同期比66.2%）となりました。なお、当社グループでは組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に144,167千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は441,188千円（前年同期比83.0%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は277,854千円（前年同期比80.3%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、「抗ウイルス抗菌サービス」を「住環境向け建築サービス」に含む形で区分変更しております。なお、以下の前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### ① リペアサービス

当第3四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は3,330,267千円（前年同期比101.7%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、比較的高単価である案件割合は増加しておりますが、新設住宅着工戸数の減少の影響を受け、2,623,230千円（前年同期比98.1%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、労働力確保により市場需要を着実に取り込んだ結果、707,036千円（前年同期比117.5%）となりました。

#### ② 住環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は2,865,485千円（前年同期比111.2%）となりました。

定期点検の売上高は、契約単価が引き続き上昇傾向であることなどにより1,146,225千円（前年同期比107.7

%)となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、集合住宅向けリペア同様、人員強化により集合住宅の検査受注が増加した結果、1,506,012千円（前年同期比112.6%）と伸長いたしました。リコール対応の売上高は、213,247千円（前年同期比121.4%）となりました。

#### ③ 商環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は3,097,004千円（前年同期比106.1%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境市場の需要堅調による店舗・商業施設、オフィスなどの内装工事やメンテナンス案件の増加により、増収となりました。

#### ④ 商材販売

当第3四半期連結累計期間における商材販売の売上高は473,727千円（前年同期比103.1%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しておりますが、堅調に推移いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,172,576千円となり、前連結会計年度末に比べ52,651千円の減少となりました。

流動資産は3,740,986千円となり、前連結会計年度末に比べ78,696千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が88,335千円増加したこと、受取手形及び売掛金が114,308千円減少したこと、商品及び製品が60,361千円増加したことなどによります。

固定資産は2,431,590千円となり、前連結会計年度末に比べ131,348千円の減少となりました。これは、主にのれんが144,167千円減少したこと、繰延税金資産が33,557千円減少したことなどによります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,390,040千円となり、前連結会計年度末に比べ129,101千円の減少となりました。

流動負債は2,920,120千円となり、前連結会計年度末に比べ137,639千円の増加となりました。これは、主に買掛金が53,255千円減少したこと、短期借入金が200,000千円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金が60,000千円増加したこと、未払法人税等が76,806千円減少したこと、賞与引当金が50,420千円減少したことなどによります。

固定負債は469,920千円となり、前連結会計年度末に比べ266,741千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が267,497千円減少したことなどによります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,782,536千円となり、前連結会計年度末に比べ76,449千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が69,163千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は45.1%（前連結会計年度末比1.6ポイント上昇）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の連結業績予想につきましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,616,235	1,704,571
受取手形及び売掛金	1,726,066	1,611,758
商品及び製品	127,069	187,431
原材料及び貯蔵品	34,063	33,306
その他	163,274	207,597
貸倒引当金	△4,420	△3,678
流動資産合計	3,662,290	3,740,986
固定資産		
有形固定資産	60,852	58,199
無形固定資産		
のれん	2,114,460	1,970,293
その他	112,576	88,283
無形固定資産合計	2,227,037	2,058,577
投資その他の資産		
繰延税金資産	96,629	63,071
その他	182,323	254,344
貸倒引当金	△3,904	△2,602
投資その他の資産合計	275,048	314,813
固定資産合計	2,562,938	2,431,590
資産合計	6,225,228	6,172,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	450,573	397,317
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	709,996	769,996
未払法人税等	113,727	36,920
賞与引当金	122,735	72,315
未払費用	589,083	579,560
その他	496,365	564,010
流動負債合計	2,782,480	2,920,120
固定負債		
長期借入金	727,517	460,020
その他	9,144	9,900
固定負債合計	736,661	469,920
負債合計	3,519,141	3,390,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,280,954	2,282,655
利益剰余金	637,069	706,233
自己株式	△773,724	△762,693
株主資本合計	2,706,086	2,787,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△5,444
その他の包括利益累計額合計	-	△5,444
純資産合計	2,706,086	2,782,536
負債純資産合計	6,225,228	6,172,576

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,232,220	9,766,484
売上原価	5,869,805	6,264,660
売上総利益	3,362,415	3,501,824
販売費及び一般管理費	2,965,942	3,199,064
営業利益	396,473	302,760
営業外収益		
受取利息	51	65
受取保険金	3,432	3,376
助成金収入	624	-
固定資産売却益	2,396	-
その他	2,626	2,249
営業外収益合計	9,130	5,690
営業外費用		
支払利息	10,072	8,565
固定資産除却損	5,924	0
障害者雇用納付金	1,675	2,550
その他	564	314
営業外費用合計	18,236	11,430
経常利益	387,367	297,020
税金等調整前四半期純利益	387,367	297,020
法人税、住民税及び事業税	152,412	127,373
法人税等調整額	32,936	35,960
法人税等合計	185,349	163,334
四半期純利益	202,017	133,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,017	133,686

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	202,017	133,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△5,444
その他の包括利益合計	-	△5,444
四半期包括利益	202,017	128,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,017	128,241
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含みます。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	44,978千円	46,495千円
のれんの償却額	144,167 "	144,167 "

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

なお、従来、サービス別に分解した情報を「リペアサービス」、「住環境向け建築サービス」、「商環境向け建築サービス」、「商材販売」、「抗ウイルス抗菌サービス」に区分しておりましたが、当社グループの事業動向に合わせて、第1四半期連結累計期間より、以下の区分に変更しております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のサービス別に分解した情報も変更後の区分で記載していません。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,274,786
住環境向け建築サービス	2,578,029
商環境向け建築サービス	2,919,919
商材販売	459,484
顧客との契約から生じる収益	9,232,220
その他の収益	—
外部顧客への売上高	9,232,220

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,330,267
住環境向け建築サービス	2,865,485
商環境向け建築サービス	3,097,004
商材販売	473,727
顧客との契約から生じる収益	9,766,484
その他の収益	—
外部顧客への売上高	9,766,484